

# 生きいき



輪投げゲームでPR 中央市稲穂まつり

- 目次
- 2頁・平成27年度地区会議  
・中長期計画完成
  - 3頁・平成27年度安全実績  
・一般労働者派遣事業
  - 4頁・各種講習会・花見会
  - 5頁・普及啓発活動  
・職群班訪問
  - 6頁・発注者からひとこと  
・私たちの奮闘記
  - 7頁・会員のひろば  
・甲斐路
  - 8頁・事務局からのお知らせ

## 公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115  
山梨県甲斐市篠原2644番地3  
TEL 055-279-6626  
FAX 055-279-6620  
<http://www.kyochu-sjc.jp/>  
E-mail: kyochu@sjc.ne.jp  
会員数 818人(3月1日現在)  
(男性 572人、女性 246人)

## 地区役員候補者承認される

### 会員理事・地域班長・女性部幹事

#### 平成27年度地区会議

平成27年度の地区会議を1月20日から1月29日までの間、12地区が5会場に分かれて開催しました。

事業状況や事故状況と各地区の活動等を報告、会員理事推薦者・地域班長及び女性部幹事を選出し、会員の理解と協力を要請しました。

この地区会議は、毎年、センターの活動状況の報告や会員相互の情報交換など、地区ごとに会員の生の声を聞き、センターの事業運営に生かしていくことを目的に、各地区の理事と班長が中心となって開催されています。



熱心に耳を傾ける会員（竜王地区）

会議に先立ち小宮山事務局長から、「近所や知り合いの会社などに声をかけていただき、就業の拡大につながるようお願いしたい。また、家事援助サービスについて、介護保険制度の改正により、平成29年度から生活支援事業の実施が市町村に正式移管されるため、組織づくりを行い、女性会員の就業機会の拡大を図っていく。」とのあいさつがありました。続いて会議では、事務局から平成27年度センター事業状況や事故状況、新入会員会費の一部免除についての説明がされました。事業状況について、就業先の企業が閉鎖したことにより、減額が見込まれたが、一般家庭等の受注拡大により、実績は昨年並みに推移している。事故状況報告では、今年度も植木作業中における事故が発生したことをうけ、植



挨拶する新役員（中央市合同）

木作業における事故では重篤事故につながる可能性があることを伝え「安全は全てに優先する」ことを再認識しました。

また、各地区からは、来年度役員の改選があるため、会員理事候補者地区推薦の承認や、地域班長、女性部幹事について候補者を選出し、連絡員の紹介、親睦活動についての報告や女性部から講習会の案内がありました。

参加した会員は、センターの事業状況や、事故報告について、熱心に耳を傾けていました。なお、地区会議の参加率は4割と低い水準にあります。今後は大勢の会員が参加し、活発な地区活動が望まれます。

## 今後10年間の道すじ

### 中長期計画完成

平成26年度から着手した中長期計画が各部会の検討と6回の委員会の開催を経て完成し、本年2月に理事会へ報告し、この度全会員への配布の運びとなりました。

「会員の拡大・地域社会との連携に向けて」、「就業機会の拡大・安全就業の推進に向けて」、「運営体制の強化・財政運営基盤の確立に向けて」の3つの柱から構成され、今後10年間のセンターの進むべき道すじが示されています。

今後も会員及び役職員が一体となって活力と魅力溢れるセンター作りを推進していきましょう。



第6回中長期計画策定委員会

**作業前の安全確認を**

**平成27年度事故発生状況**

平成27年度2月までの事故発生状況は、傷害事故5件、損害事故2件の7件となっております。

傷害事故は、植木剪定作業中に脚立から移動する際に転落し脇腹を塀に強打し肋骨を骨折。また脚立の上でバランスを崩し胸を強打し肋骨にヒビのはいる事故が発生しております。

事故発生後、再発防止のため安全委員会を開催し、安全就業基準

**事故発生件数の推移**

平成28年2月末日現在

年度	会員数 (人)	就業 実人員 (人)	事故発生件数				
			傷害事故			損害 事故	合計
			途上	就業中	小計		
24	881	813	2	3	5	5	10
25	884	797	1	1	2	7	9
26	840	709	0	3	3	8	11
27	818	698	0	5	5	2	7

**傷害事故発生状況**

事故の種別	事故の内容	件数
転落	脚立から転落し腹部を強打	2
転倒	バランスを崩し手首と脚部を強打	1
	蜂に刺されバランスを崩し脚部を強打	1
接触	軟式野球の打球で手を強打	1
合計		5

**損害事故発生状況**

事故の種別	事故の内容	件数
除草作業	刈払機の飛散物で車のガラスを破損	1
その他	シャッターの鍵穴を变形させてしまった	1
合計		2

の遵守徹底に加え、植木作業のリーダー会員を通し、①作業開始前「服装・安全装備の確認」「警告表示の設置」②作業中「脚立の固定・安全帯の使用」「使用しない道具の整理整頓」等について、

写真を用い確認を行い作業に当たるように、植木作業会員に通知し安全就業の徹底を行いました。

損害事故は、昨年引き続き草刈作業員安全教育実施要領に基づき講習会等を通じ事故防止の徹底を図りましたが、刈払機による事故が1件発生しております。原因は

事前に手刈りを行っていないことや飛散防止ネット等安全対策の不徹底のため発生しております。「安全は全てに優先する」この事を再確認し安全就業の徹底をお願いいたします。

**多様なニーズに応え  
一般労働者派遣を**

平成26年度から一般労働者派遣事業を開始しました。開始2年目の第三・四半期の実績として200万円弱の発注を頂きました。

派遣事業開始初年度から当センターは請負・委任の受託業務では継続受注の難しかった運転業務と食品関連業務を受託事業から労働者派遣事業に移行しております。

派遣法が改正され、シルバー人材センター事業においても、派遣事業を中心とした事業展開も想定されており、今後も請負事業では受注する事が困難であった業務や発注先の多様なニーズに応え、より多くの就業機会の確保及び提供を行うため労働者派遣事業を推進してまいります。

また、労働者派遣事業での引き

受け体制を確立するため、安全衛生管理体制の整備など連合会本部と協議を行っております。

**公共施設就業説明会  
接遇講習会**

平成28年度の公共施設配置について就業説明会を実施いたしました。中央市では11月17日、27日の2日間で総勢91人、甲斐市では12月15日、22日の2日間で総勢293人の会員が参加しました。

就業についての注意事項や、全会員に配布してある名札に書かれた会員の心得について厳守することなどを伝えました。

同時に開催した接遇講習会では、講師の島中理事より公共施設での接遇の大切さについて話があり、参加した会員の方々は熱心に耳を傾けていました。



中央市公共施設就業説明会

## 各種講習会・花見会

### 植木剪定

#### 「新人育成」安全講習会

平成27年10月15日、甲斐市敷島総合公園において、剪定方法や安全就業を学ぶ植木剪定「新人育成」安全講習会が行われました。

講師は甲斐市造園組合会長・美園造園土木武藤洋一社長にお願いし、新人の会員4人と公募した一般の方4人の計8人の方が受講、枝抜きや刈込みの方法を習得しました。

実技では、公園の中低木について講師の指導を受けながら剪定を行い、脚立や道具の安全な取扱いについても熱心に学びました。講義終了後には、一般の方にシル



講師の指導を受ける参加者

バー人材センター事業の紹介を行い、入会の案内を行いました。今後は一般の方も入会し、剪定技術習得や人間関係等大変なことも多いですが、各地の植木班で活躍される事を期待しています。

### 女性部手芸講習会 クラフトペーパーバスケット作り

12月2日北部公民館でクラフトテープ（再生紙の紙バンド）によるカゴ作りの講習会が行われ、会員と一般の方合わせて43人の参加がありました。

始めに、女性部の木村部長から「日頃のこと等、色々お話をしながら楽しんで手芸をして下さい。」との挨拶があり、女性部手芸班の会員が講師となり、進められました。テープもカゴの大きさに採寸されてセットになっていましたので、すぐに取り掛かる事が出来ました。

テープの織込みが難しく四苦八苦ししながら、速い方は二時間少々で完成していましたが、時間ぎりぎりまで完成した方がほとんどでした。それぞれオレンジ色と赤色の小物入れのカゴが仕上がりました。

うでした。

女性部手芸班では、毎月第2月曜の午後活動を行っており、新しい参加者を募集しています。興味のある方は事務局までご連絡ください。



テープの織込作業に悪戦苦闘する参加者

### 出張入会説明会

10月28日に中央市立玉穂総合会館に出張して入会説明会を開催いたしました。センターが広域のため、入会者の利便性が図れるように実施いたしました。

当日は6人の参加者があり、中央市の方にとってはセンターの事業の内容を近場で聞くことができ、入会のきっかけにつながりました。

### 晴天に800人参加 第7回「コスモス花見会」

10月9日、第7回コスモス花見会が甲斐市岩森のコスモス畑とJA双葉集出荷所で開催されました。

当日は天候も良く花も見頃を迎え、800人を超える来場者があり、理事、地域班長、女性部幹事が中心に花見会を盛り上げ、センター事業のPRを行いました。

今年度は農協が計画したカラオケ大会やマジックショーが祭りを盛り上げる中、センター恒例の餅の無料配布、おにぎりや豚汁の販売にも長い列が出来ました。

今年度も催しの売上金で交通安全全旗を購入し、教育委員会を通して管内の小学校に寄贈し喜ばれました。



コスモス花見会来場者

## 普及啓発活動・職群班

### 啓発活動を展開

#### 街頭PR・祭りに参加

10月11日昭和町ふるさとふれあい祭り、10月18日甲斐市わくわくフェスタ、11月3日中央市稲穂祭りのそれぞれの会場において、地区担当理事が中心となり、輪投げゲームや鉢花の配布を行いました。

10月22日には、管内スーパー10カ所及び竜王駅前において三千枚のチラシやティッシュの配布を行いシルバー人材センターのPR活動を実施いたしました。

このような啓発活動を行うことにより、シルバー人材センターの名前が地域に浸透し、就業会員の拡大に繋がるので、今後も継続してPR活動を実施していく必要があります。



10/11 昭和町ふるさとふれあい祭り



10/18 甲斐市わくわくフェスタ



10/22 街頭PR (おかじま敷島食品館)



10/22 街頭PR (オキノ双葉店)

### 職群班訪問

#### 竜王地区除草班

今回は竜王地区に3つある除草班(草刈り班1、草取り班2)のひとつの草取り班を取材しました。草取り班とは手作業で草を抜くチームです。

南リーダーをはじめ水上さん古屋さんに話しを伺いました。

班のメンバーは6人、作業現場は一般家庭が多いので全員揃って作業することは少ないですが、シーズン中は大変忙しくてお互い協力し合って作業をしているようです。

発注者からの依頼を事務局が受け、リーダーが現場を確認して見積り、事務局に報告し発注者の了解を得て、作業開始となります。

「暑い夏場は作業が大変です。秋は涼しくなり作業はしやすくなりますが通称『バカの種』が靴、手袋、服等に着いてしまい取るのが大変です。また、地面の固い駐車場、ジャングルのような空き家の作業も大変です。時には雑草ばかりではなく大切なハーブや花もあるので、何を残すか発注者に確

認し鉢植なども動かし、丁寧な仕事を心掛けています。」と苦労話もありました。

最近空き家の作業も多く、作業の前後の写真撮影を県外の発注者に送っているため大変喜ばれているそうです。また、高齢の女性一人住みの家も多く、作業が終わった後色々話しをするのを楽しみにしている方もいるそうです。

作業後に「綺麗になつて良かったです、ありがとうございます。」と感謝とお褒めの言葉をいただく時が一番うれいとのことでした。

「シルバーに入会して友達も増えました。一緒に汗を流して仕事をやる仲間は最高で、いいお付き合いが出来て楽しい。」と皆さんそうおっしゃっていました。(石坂)



竜王地区草取り班メンバー

## 発注者からひとこと



### 一年中安心と感謝

東京都 古屋 輝子

私達家族は東京で生まれ育ち、むろん地方に実家もなくお盆や正月も東京で過ごし、他の人が田舎があつてうらやましいと思つておりました。

将来は山の四季を通して過ごしたいと思ひ山梨を選び、近所の方もとても気さくに話してくださる敷島に家を求めました。しかし、住宅や庭の手入れも行き届かず、峡中広域シルバー人材センターさ

んにお願ひして、悩んでいる事全て解決しました。

紹介していただいた窪田さんが庭の手入れ、ゴミの処理。また、家の風通しをしていただき、何時行つてもお布団が温かく、部屋も綺麗なにして下さり、その他色々面倒を見ていただき、親戚が少ない私達家族は窪田おばさんがいてくださる事で、本当の田舎が出来た思ひです。

心から安心しておまかせできるスタッフの皆様、窪田おばさんに出会えた事に感謝いたします。

いと思ひます。

給食センターは食の職場、食中毒を起さないよう衛生面には万全の注意を払っています。子供達の掛け声に元気をもらい一日の仕事を終えて、明日また頑張ろうと、そんな意気込みの毎日です。

### 私も元気になれるよう

双葉地区 鈴木かずみ

転居して間もない私は友達・仲間作りが出来たらと思ひシルバーに入会を致しました。暫くして家事援助の仕事頂き、人生もう一



度奮闘しようとお受け致しました。利用者の方は91歳で週1回1時間の買物の支援をさせて頂いております。仕事内容はお宅に訪問し、依頼された商品の買い出しからお届けに至ると云う決して難しい事ではありません。

お届けした商品と釣銭を確認して頂き何時誰にでも解る様にとノートにレシート、買い物メモを日付事に貼つて次回の予定日等を話をして帰宅、回を重ね互いに信頼も深くなり、毎回来しく少しもお役に立つ事が私自身の元気の源になっております。

短時間ですが対話が出来る事で利用者の方の日の見守を兼ね又地域の皆様とふれ合う事が出来、家事援助サービスで私も元気になれる様頑張っております。

## 私たちの奮闘記

### 給食の安全配達を

昭和地区 中込 裕

昭和町の学校給食センターに派遣社員として勤務しています。毎日2人で栄養士調理員の皆様が愛情を込めて作った給食をコンテナに配備したトラックで、小学校三校、中学校一校へ配達をしています。

交通事情の激しい道路ですので安全第一を考え、中の食材が零れないよう、急ブレーキ・急発進には特に気をつけて、各校の給食時間に間に合うよう送り届けること



を責務としています。午後はコンテナの回収業務です。最後に各校の残飯の計量と記録をします。残飯が多い時には、自分の幼少時代をふり返りもつたいな

## 会員のひろば

### 油 絵 (伴奏を終えて)

竜王地区 荒木 茂

45歳から水彩画を始め5年位前から油絵・版画も始めました。この作品は完成するのに2カ月かかり、造形展に出品し、山梨日日新聞社賞をいただきました。



### 川 柳

竜王地区 玉木 勝美

平成会の無尽の仲間と共に2年前から始めました。10人の仲間の川柳集を作成し、昨年はラジオの取材を受けました。

### 孫が来て

財布のひもが ゆるむ妻

### 同期会

ぽつんぽつんと 減ってくる

### 言われたら

ハイと返事し

すぐ忘れ

## 私の健康法

### マジックを通して 介護予防



田富地区 鮎川 英哲

45年前のことです。米国留学中に現地の方々に日本の文化を紹介するイベントがあり、友人が見せたマジックが大うけでした。マジックは言葉が通じなくても、こんなに人の心を魅了するのかとびっくりしたことを覚えています。帰国後はすぐに、山梨マジッククラブに入会しました。

あれから43年、現在の会員の中にも70代や80代の方もいますが、皆とても元気で、マジックを見ている人と一緒に自分も楽しんでいきます。私もマジックの訓練をしたり、研究会に参加したりして、ネタを考え、新たな挑戦を続けていきます。マジック用の白い鳩も大事に飼っています。

現在は、保育園の誕生日会やクリスマス会、福祉施設のイベントや、地域の夏祭り、敬老会などに

出演して、老若男女を問わずに、マジックを通して楽しい時間を一緒に過ごしています。

山梨県は男女共に健康寿命が全国一だそうです。

これからも自分の介護予防のために、マジックを通して、見ていただく方々と一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。

### ふるさとの祭り (5)

#### 「今福大興神社祭典」

田富地区

中央市今福の大興神社は、その由来は定かではありませんが、祭神は守屋大臣とされています。「甲斐国志」には神明宮を配祀し、今福氏の鎮守とあります。今福一族の祭神を祀った神社が地域の神社として発展したのでしよう。

10月の秋まつりには、少女による「浦安の舞い」と「川除け神輿」が行われます。浦安の舞いは、地域の小学生4名が巫女姿で舞を舞います。

「浦」とは「心」の古語で、人々

の心が平安になるように舞う舞のことです。緋袴に冠をつけ、金色の扇から鈴鈴に持ち替えて優雅に踊る姿は、地域の人たちの心を和ませるに十分です。

舞が終わると、子供神輿と大人神輿が出てねり歩きます。最初は、釜無川土手に近い「めぐり木」の祠にむかいます。田んぼの中に2本の杉の巨木が立ち、神聖な場所です。

その後地域を巡って神社に戻ってきます。釜無川の被害に悩まされた地域の願いが伝わってきます。毎年4月と10月に行われる祭りですが、神輿は秋だけだそうです。

田富町誌、甲斐国志参考



2012.02.16

## 事務局からのお知らせ

### 信頼を築くために 接遇の見直しを

この4月より会員の多くの皆様はローテーション等により就業先が変更になったり、会員になって初めて就業する会員が多いと思います。よってお客様と接する際の接遇について心掛けなければならぬことをあげてみました。

お客様（発注者）は、私たちの言動を通じてセンター全体を判断しています。会員一人が軽率な言動や行動をすれば、センター全体の信頼が失われることとなります。また、大切な仕事を失うことになりかねません。

お客様の対応のなかで、常日頃から次のことを心がけましょう。

#### 第一印象を良くする

第一印象はいつまでもその人の心に残り、後々まで大きな影響を与えます。

#### (1) あいさつ

「挨拶に始まり、挨拶に終わる」といわれるように、挨拶はスムーズな人間関係をつくる第一歩です。相手にとどくように言葉＋表情＋動作に気を配り、なにより先手必

勝で自分から積極的に実行していくことが大切です。

#### (2) 身だしなみ

「誰にとっても感じよく」身だしなみは、自分自身の能力や人柄を伝えるメッセージです。同時に、どれだけ相手に気を遣っているかということを示す思いやりの尺度にもなります。特に髪や顔のひげや化粧、上着、ズボンなどの服装、手先、足元などに気を配り、誰にとっても感じの良い身だしなみを意識しましょう。

#### (3) 言葉使い

「丁寧」「ゆっくり」と人は言葉で身体も気持ちも動くも

のです。言葉ひとつで相手に不快感を与えたり、思いが曲がって伝わってしまうことがあります。話す時は、丁寧に、ゆっくりと親しみのある話し方で、「まごころ」を込めて伝えましょう。

#### (4) 笑顔

「笑顔は人の心を開くカギ」親しみある笑顔で語りかけられて、いやな顔をする人はいません。笑顔は人の気持ちをほぐし、心を和らげます。パッと見た瞬間に笑顔で挨拶できるようにしましょう。

以上、お客様からの信頼をこれまで以上に得られるよう業務に反映させてください。

## 今後の予定

### ○平成28年度定時総会

日時 6月3日(金)  
午後1時30分  
場所 昭和町総合会館

通知を別途地域班長・連絡員経由でお渡しますので、封筒に入っているハガキ（出席か欠席の届け出、欠席の場合は議決権行使委任状）の提出を必ずお願いします。

### ○普及啓発グラウンド・ゴルフ大会

日時 5月25日(水)  
午前8時30分受付開始  
場所 甲斐市双葉スポーツ公園

一般の方も参加できます。詳細については、別途通知いたします。

## 編集後記

「あら！私の財布どこだったけ・・・ケイタイは・・・」しばしばこんな経験はありませんか「物忘れは認知症の入口です。適度の運動、食事、人との交流等により防止できますよ・・・」先日、物忘れに悩む身内の者に行方不明のときの医師の言葉です。

高齢者の十人に一人、十年後には五人に一人が認知症といわれています。年を重ねるごとに、悩みの種は健康のことです。こんな時、参考になるのが、本誌各号に掲載されている「私の健康法」です。健康は日頃から、自らの努力と工夫で作ります。何事も前向きに捉え、継続することだと感じました。

人生八十年代、元気で過ごしたいものです。あなたの健康法は・・・、寄稿をお待ちしています。(深沢)

### 編集委員

畠中 久男・中島 紀佐夫  
伊藤 龍彦・石坂 とし子  
深沢 積善  
小宮山俊彦・小田切まり子